

大東プレス工業株式会社

業務用車両のバックミラーで断トツのシェア

大型車両の安全を支えるバックミラー

大東プレス工業は、トラック、バス、建設機械、産業機械等の業務用車両のバックミラー製造量で、国内断トツのシェアを誇っている。

会社設立は昭和12年。当初は園芸農具の金物製造等を手がけていたが、先代が進駐軍のジープを見て、日本にも車社会がやってくると確信。早速、バックミラーの製造に取りかかった。

急成長したのは吉田多佳志社長が大学生の頃。試行錯誤の末、劣化しやすい銀引き鏡から真空蒸着法によるアルミ蒸着鏡の開発に成功した。これにより、従来6か月程度だった

た耐久性が、5年以上の耐久性にまで上昇した。これが評判を呼び、現在では路線バスの99%、観光バスの90%、建設機械の70%以上が同社のバックミラーを採用するまでとなった。

大型バスの場合、一台で8〜9個も同社のミラーを着けているという。安全性を重視する企業にとっては、多少コストがかかっても質の良いものが喜ばれる。同社のミラーはそんな企業の求める条件に合致したのだ。

可動、軽量と進化するミラー

吉田社長自身がアイデアマンだ。趣味であるラジコンヘリを操縦しているときに、上下左右自在にコントロール可能なミラーを思いついた。早速特

許を取得し、現在では同社の主力商品の一つになっている。

最近ではミラーの軽量化を図り、樹脂製ミラーの開発に着手。平均1・4kgあったミラーを約850gにまで軽量化した。

ミラーの軽量化には、燃費向上とともにコスト削減も実現できるメリットがある。また周辺装置（ステア・コントロール）の開発にも取り組んでおり、ドイツの企業と提携して世界トップクラスの性能を持つというテレビカメラシステムの販売も開始した。

生産面では上海に工場を建設し平成20年12月から操業を開始。それに伴い埼玉県に物流センターを設置し、海外で生産した商品の納入場所として活用するなど、コストダウンに注力している。

井戸水のごとく湧き出るアイデア

この創意工夫に溢れた社風は、先



大東プレス工業株式会社

Company Profile

住所／〒538-0052
大阪府大阪市鶴見区横堤4-1-31
設立／昭和12年6月
資本金／4,500万円
従業員／110名（平成21年1月現在）
TEL／06-6911-4751
FAX／06-6911-4753

ISO 9001
ISO 14001

全国
19

<http://www.daito-press.co.jp/>



吉田 多佳志さん
代表取締役

主な事業内容

自動車部品、プレス加工品の製造・販売（主として、バス・トラック・建設機械・産業機械向けバックミラー）等

代社長が「中小企業は人に真似されないようなものを作らないといけない」と言い続けた結果だという。現社長をはじめ社員全員がその教えを守り続けている。特許の取得にも積極的で、現在保有済みの特許は15件、申請中も16件ある。

「アイデアは井戸の水のようなもの。昔の井戸は水が満ちていた状態で、アイデアもすぐに汲むことができた。今は水位は下がってしまいました。水が枯れることはありません。要は汲み方次第です」と吉田社長は自信を持って語る。